

# 都市学科（旧土木・旧都基・旧環都）

## 都市学科の近況



工学研究科教授・都市学科主任教授

**嘉名 光市**

卒業生の皆様には、学外実習の受入や業界説明会での講演など、都市学科（並びに大学院・都市学講座）学生の成長に多面的なご支援をいただき誠にありがとうございます。

令和元年度卒業予定者の進路は、在学4年生59人のうち38人が本学大学院などの前期博士課程に進学予定であり、15人が企業・官公庁から内定をいただいています。修士2回生は4人が技術系公務員として、28人がゼネコン、建設コンサルタント、環境・設備系メーカーなどの企業への就職が内定しています。

教員の異動は、平成31年3月に遠藤智司准教授が国立環境研究所に転出されました。また、令和元年10月には中條壮大講師が准教授に、鍋島美奈子

准教授が教授にそれぞれ昇任されました。

活動面では、工学研究科を中心とした研究組織「都市科学教育研究センター（CUES:"C"enter for "U"rban Socio-"E"cological "S"ystems）」が平成31年4月に開設されました。同センターは都市を、物・人・貨幣・情報のコネクティビティからなる「社会生態システム」として捉え、そのしくみの解明と予測・評価に資するコミュニケーションプラットフォームを構築し、SDGsに根ざした未来社会の姿を描くことを目指しています。

社会情勢も踏まえつつ堅実・着実な研究・人材育成を進めております。卒業生の皆様の変わらぬご支援、ご鞭撻よろしく願いたします。